

表紙のことば

坂東克彦

七月十五日、東海大学海洋調査船「望星丸」
 (一、七七七トシ)が、新潟港に入りました。
 前総長松前重義氏の「若き日に汝の希望を屋
 につなげ」にちなんで名付けられた船です。
 昨年暮に結婚した息子に船内を案内してもら
 いました。
 次の寄港地は、熊本の三隅港ということだ
 した。

せ、ひとつの節を迎えた合唱団は、これからの活動方針を団
 会で全員一致決定した。
 ③多くの期待に応えられるよう、歌唱力の向上をはかるための
 基礎練習を重視してゆく。
 ②団員の拡大、特に視覚障害者の加入をすすめる。
 ③財産としてのへのぎく賛歌Vの普及に努めながら、全県に障
 害者運動の輪を広げる。
 道はけわしいが、合唱団どんぐりは、これからも、前をみつ
 めて歩き続ける。
 (すずきこうへい||新津市)

『いがたの教育情報』第三七号(既刊)内容
 特集・新潟県における「教員の多忙化」問題

▼教員の教職活動に関する調査

(「教員の多忙化」調査) 中間報告……片岡 弘

▼なぜ、中学校教師は「忙しい」を

口癖にしているのか?……小林 朗

▼学級の子どもともっとふれあいたいのに

……鈴木枝美子

▼フランス・カナダ・日本

—国際化時代の社会と教育——成嶋 隆

▼妖怪のような「新学力観」(下)

—ふたたび「講座資料」をよむ!——八木三男

▼私たちの食糧と環境を守る農業(下)……長崎 明

△小学校社会科教科書を逆検定する▽

▼新潟北から南から

▼図書紹介「日本の学校のゆくえ」……木村哲郎